

令和5年度 第2回石狩市健康づくり推進協議会 議事録

日時 令和6年3月6日(水) 18時30分～19時15分

場所 石狩市役所 5階 第1委員会室

出席者 八島絵美会長、中川賀嗣副会長、江頭裕二委員、松永雅和委員、上田均委員、
西野典男委員、仲尾悦子委員、西山繁治委員、金木渉委員、戎屋孝一委員、
中村枝美子委員

事務局 健康推進担当部長 市園博行、保健推進課長 富木浩司、国民健康保険課長 新関正典、
スポーツ健康課長 松永実、保健師担当課長 廣瀬芳江
保健推進課主査 岩本瑞恵、竹瀬麻紀、田中昌子、保健推進課主任 山本忍、平野開人

欠席者 山本長史委員、向田久美委員、阿部侃委員

傍聴者 0名

次第

1 開会

2 議題

(1) 石狩市健康づくり計画(第2次)の最終評価案について(資料1)

(2) 石狩市健康づくり計画(第3次)の計画案について (資料2)(資料3)(資料4)

3 その他

4 閉会

====協議内容の記録(協議経過、質疑、意見等)====

以下の質疑・意見については、○委員発言要旨、●事務局発言要旨

1 開会

2 議題

(1) 石狩市健康づくり計画(第2次)の最終評価案について

●(竹瀬主査) 石狩市健康づくり計画(第2次)の最終評価案を説明。(資料1)

(2) 石狩市健康づくり計画(第3次)の計画案について

●(岩本主査) 石狩市健康づくり計画(第3次)の計画案を説明。(資料2)(資料3)(資料4)

【質疑・意見】

○(八島会長) 石狩市健康づくり計画(第3次)の計画案について、大腸がんなど各種検診の受診率の低さが課題だということでしたが、「栄養・食生活」の領域では、特定健康診査問診票の質問を用いて評価することになっています。職種によって健康診査を受けやすい人、受けにくい人がいると思いますが、様々な職種の方に健康診査を受診してもらうための対策はありますか。

●(岩本主査) 様々な職種の方に健康診査を受診してもらうための対策ですが、集団検診に関しては、6月から翌年3月まで偏りなく実施することで繁忙期・閑散期のある業種の方が受診しやすいようにしております。

また、集団検診の申し込み方法に関して、従来は電話または来庁による申し込みでしたが、今後はインターネットを用いた申し込みも検討してまいります。

○(金木委員) 資料4の高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について、フレイル対策を介護保険の機関と連携して実施するという記載がありますが、具体的にはどのように実施するのでしょうか。

●(岩本主査) 具体的には、まず各地域包括支援センターが展開している介護予防事業に関わらせていただくことを想定しています。その先に、各介護保険事業者が独自事業として行っているフレイル予防の教室があるとお聞きしていますので、出向かせていただいて、参加者への栄養相談や血圧測定等を行いたいと考えています。

○(金木委員) 各事業所を会場として事業を展開していくということではよろしいでしょうか。

●(岩本主査) 各事業所を会場とすることは既にいらっしゃる利用者との兼ね合いもあることから、ハードルが高いと考えておりますので、各事業所が地域の通いの場で行っている講座などに参加させていただいて相談を行うという想定をしております。

○(金木委員) 高齢者支援課や地域包括ケア課との連携はされているのでしょうか。介護事業所としての立場として発言させていただくと、地域の皆さんに対してフレイル対策のアピールを行うことが重要だと考えていますので、各課が連携し、介護保険事業の中で行うことができるのであれば、協力する事業所はあると思います。

また、令和6年度「いしかり医療と福祉のまちづくりひろば」では、フレイル対策をテーマに研修会を行う案が出ておりますので、連携ができればと考えています。

●(岩本主査) 高齢者支援課及び地域包括ケア課とは高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施を実施するにあたり事前の協議を行っており、石狩市高齢者保健福祉計画の中で「生きがいづくりと介護予防の推進」の具体的な施策の一つとしてこの事業を記載してもらうことを確認しております。介護予防と高齢者の健康づくりについて一体的な事業活動ができればありがたいと存じますので、「いしかり医療と福祉のまちづくりひろば」事業へも参加したいと考えております。

○(西山委員) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について、石狩市社会福祉協議会との連携・情報共有はされていますか。

●(岩本主査) 石狩市社会福祉協議会が通いの場のマップの作成、通いの場の集約及び情報発信をしていることは存じております。そのため、私どもの高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施は石狩市社会福祉協議会との連携なしには進まないものだと理解しております。次年度に事業実施を行うに当たっては、事業の企画調整を行う専任保健師が石狩市社会福祉協議会を始め、高齢者支援課や地域包括ケア課と協議としながら進めてまいりたいと思います。

○(中川委員) 標準化死亡比(SMR)について説明願います。

●(廣瀬課長) 国の平均を100としており、標準化死亡比が100以上の場合は国の平均より死亡率が高いと判断され、100以下の場合は死亡率が低いと判断されます。そのため、石狩市における肺がんや乳がんの死亡率は国の平均より高いということになります。

○(戎屋委員) 石狩市健康づくり計画(第3次)の資料2の15ページの「2週間以上、気持ちの落ち込みなどがある人の割合」について、数値だけ見ると、石狩市では年々増加しており、国

や北海道と比較して高い数値になっているように見えます。

- (廣瀬課長) 石狩市は市民アンケートで「2週間以上、気持ちの落ち込みなどがある」かについて質問しており、国や北海道はK6といううつ病や不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的とした詳細な質問票を用いているという点で異なっているため、同率で比較・評価することは困難ですが、国や北海道の数値が横ばいとなっているのに対し、石狩市のアンケート調査では右肩上がりになっていることについては課題であると考えています。
- (八島会長) 国や北海道の調査対象と石狩市の調査対象で年齢層などの違いなどはありますか。
- (廣瀬課長) 国や北海道の調査対象に関するデータは当市にはないため、石狩市との違いについてお答えすることはできません。
- (中川委員) 数値だけ見ると、石狩市民の気持ちが落ち込んでいる人の割合が高いというように見えるので、国や北海道の数値と並べて見せない方がいいのではないのでしょうか。
- (廣瀬課長) 数値の見せ方についてはもう少し丁寧な説明にしたいと思います。
- (西野委員) 非常に良い計画ですので、市民に様々な方法で周知して欲しい。また5年、10年間隔の評価だけでは長すぎるので、毎年市民にアンケートを取って評価して計画に反映して欲しい。
- (廣瀬課長) 計画については、ホームページや広報等を用いて具体的に周知していきたいと思えます。また、石狩市健康づくり計画(第3次)は市民アンケートを用いず、特定健康診査問診票での生活習慣についての質問を用いてモニタリング及び評価することを検討していますが、毎年の本協議会でご報告し、委員の皆様からご意見をいただく中で計画に反映していきたいと存じます。
- (八島会長) 資料2の「歯・口腔の健康」領域について、23 ページを見ると、石狩市の子どもの虫歯数は国や北海道に比べて高いのが残念ですが、対策はありますか。
- (岩本主査) ご指摘の通り、子どもの虫歯数が国や北海道に比べて高いことについては課題だと認識しています。歯の健康については、全ライフステージで重要なものですので、各ステージで連動した事業を行うとともに、歯の健康づくりの継続に関する普及啓発を行ってまいりたいと思えます。
- (八島会長) 歯の健康づくりに関する普及啓発について、ご家庭だけでなく、お店などに対してもポスターの掲示依頼などの働きかけを行っても良いのではないのでしょうか。
- (岩本主査) 歯の健康づくりに関する周知の方法について、広報やホームページというものを基本にしますけれども、やはり人が多く訪れるような商業施設、比較的滞在時間が長い病院、薬局及び図書館などいろんなところにポスターの掲示依頼を行っていききたいと思います。

【その他全体を通して】

各委員から全体を通しての意見はなく、「第2次石狩市健康づくり計画の最終評価報告書案」及び「第3次石狩市健康づくり計画案」は、協議会として承認された。

3 その他

- (市園部長) 本日は大変お忙しい中、本協議会にご参加賜りまして誠にありがとうございました。今

後の協議会の予定ですが、いまのところ、来年度の協議会の予定は未定となっております。委員皆さまの任期は本年7月31日までとなっておりますので、同じ顔ぶれでの開催は今回が最後になると思われます。

皆様には、2年間、石狩市健康づくり計画の最終評価及び策定についてご意見を賜りましたこと、改めてお礼申し上げます。

- (廣瀬課長) 令和6年度の改選に向けましては、今後、任期満了に伴う各母体への推薦依頼や一般公募委員の公募等をしかるべき時期に実施して参りますので、ご協力の程、お願い申し上げます。

4 閉会

令和6年3月/8日 議事録確定

石狩市健康づくり推進協議会

会長 八島 絵美